

5-7 河川水質健康項目調査結果

(報告下限値を超えた項目と地点名)

河川名	測定地点名	年平均値 (mg/L)
-----	-------	----------------

鉛 (環境保全目標値0.01mg/L)

土佐堀川	天神橋	0.005
木津川運河	船町渡	0.006
穂谷川	淀川合流直前	0.005
天野川	淀川合流直前	0.005
平野川	南弁天橋	0.005
	東竹測橋	0.006
平野川分水路	天王田大橋	0.008
安瀬川	天堂橋	0.012

ひ素 (同 0.01mg/L)

王子川	王子川橋	0.007
-----	------	-------

ジクロロメタン (同 0.02mg/L)

土佐堀川	天神橋	0.005
寝屋川	今津橋	0.007
恩智川	福栄橋下流100m	0.076
	三池橋	0.044
第二寝屋川	下城見橋	0.005
	巨摩橋	0.012
平野川	城見橋	0.005
	南弁天橋	0.008
	東竹測橋	0.018
平野川分水路	天王田大橋	0.012
古川	徳栄橋	0.006
大正川	平野川合流直前	0.030

河川名	測定地点名	年平均値 (mg/L)
-----	-------	----------------

トリクロロエチレン (同 0.03mg/L)

第二寝屋川	巨摩橋	0.005
平野川	南弁天橋	0.011
	東竹測橋	0.004
平野川分水路	天王田大橋	0.002
玉串川	三野郷農協前	0.003
長瀬川	第二寝屋川合流直前	0.004
大正川	平野川合流直前	0.011

テトラクロロエチレン (同 0.01mg/L)

堂島川	天神橋	0.0005
土佐堀川	天神橋	0.0005
津田川	昭代橋	0.0027
櫻井川下流	櫻井川橋	0.0006
山中川	東打合橋	0.0007
第二寝屋川	下城見橋	0.0007
平野川	城見橋	0.0007
	南弁天橋	0.0013
	東竹測橋	0.0008
平野川分水路	天王田大橋	0.0005
古川	徳栄橋	0.0006
大正川	平野川合流直前	0.0025

- 記載のない地点、項目では平成11年度の全ての測定で報告下限値未満。よってそれら地点・項目の年最大値、平均値は報告下限未満との表記になる。
【例：淀川(枚方大橋・左岸)のかゞシムは上表に記載がないので、年平均値 <0.001mg/L となる】
但し環境基準値が「検出されないこと」となっている項目(全シアン、アルキル水銀、PCB)については、'ND' と表記する。(ND:未検出の意味)
なお、本府での報告下限値は次のとおり。(*:年平均値、最大値を'ND' と表記する項目)

健康項目の報告下限値

(mg/L)

かゞシム	全シアン*	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀*	PCB*
0.005	(0.1)	0.005	0.02	0.005	0.0005	(0.0005)	(0.0005)
ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン
0.005	0.001	0.001	0.005	0.01	0.001	0.002	0.002
テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	ふっ素
0.0005	0.001	0.003	0.001	0.005	0.005	0.005	0.08
ほう素	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素						
0.02	0.08						

- 測定地点は、表5-7参照。全地点で(アルキル水銀を除く)全項目を年1回以上測定。
- 環境保全目標(環境基準)は、全シアン及び総水銀以外は年平均値で判断。全シアンは最大値。総水銀についての適否の判定は、年間の測定値が0.0005mg/Lを超える検体数が調査対象検体数の37%以上である場合を不適とする(昭和49年12月23日付け環水管第182号)とされている。
なお、平成11年度においては、総水銀は全地点の全測定で検出されなかった。
- アルキル水銀については、原則として総水銀が検出された場合のみ測定を行っているため、平成11年度は測定を行わなかった。
- ふっ素、ほう素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の3項目については、平成11年度水質測定計画策定後、健康項目に移行された為、評価をおこなっていない。